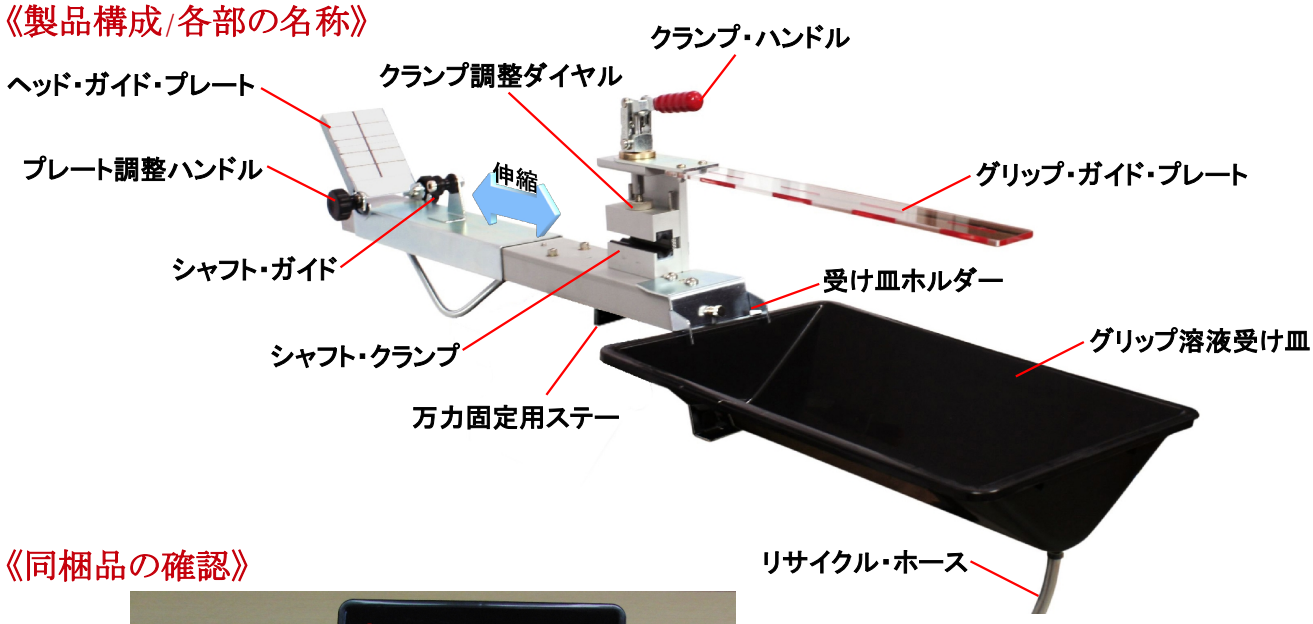
5604-0261　ベンチマウント グリッピングステーション
取扱説明書

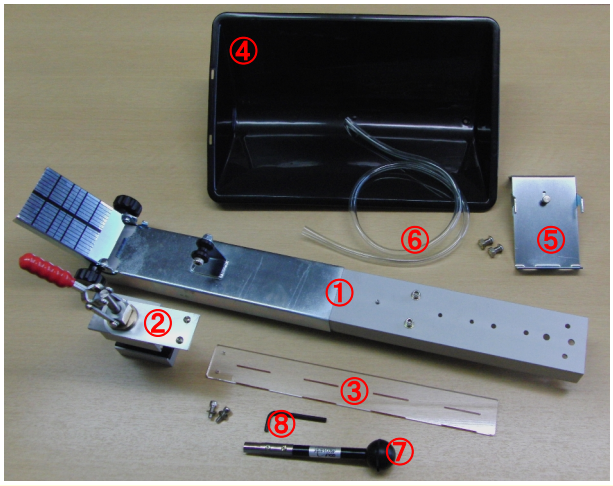
《製品の概要》

省スペースで、正確なグリップ装着・交換ができるツール。レバーアクションでクラブを固定でき、目盛の付いたプレートにクラブヘッドを配置し、グリップ用ガイドラインをセンターに合わせるだけで、スクエアなグリップ装着が可能。また床を汚さず溶液のリサイクルも可能なグリップ溶液受け皿付きでとても便利。万力に固定するか、別売の固定用ブラケットを使用し、作業台に固定して使用。

《製品構成/各部の名称》



《同梱品の確認》



①本体
（万力固定用ステー装着済）
②シャフト・クランプ
（固定用六角ネジ、ワッシャー 各2個付属）
③グリップ・ガイド・プレート
（固定用プラスネジ、ワッシャー、ナット 各2個付属）
④グリップ溶液受け皿
⑤受け皿ホルダー
（固定用六角ネジ、ワッシャー 各2個付属）
⑥リサイクル・ホース
⑦グリップ・テープ剥がし
⑧六角レンチ

組立・設置に際して、ご用意頂くもの
○プラス・ドライバー(グリップ・ガイド・プレート取付時、ネジ締め付けに使用)
○モンキ・レンチ(グリップ・ガイド・プレート取付時、ナットを固定するために使用)
○万力(頑丈な作業台に固定したもので、万力自体の重量5kg以上が望ましい)
※作業台に直接固定して使用する場合は別途、5604-0262: 作業台固定用ブラケット、作業台に適したボルト等を、ご用意下さい。

グリップ装着時、ご用意頂くもの
○グリップ・テープ
クレープ紙= BF01J: 幅20mm×33m、BF01K: 幅50mm×33m
和紙= 6766-0001: 幅20mm×5m、6766-0002: 幅20mm×10m、6766-0003: 幅20mm×30m、6766-0004: 幅50mm×30m
○グリップ溶液
LG03: グリップ交換溶液エアゾール 100ml、GV0691: グリップ交換液180ml、LG398: グリップ交換溶液エアゾール 480ml、LG398: グリップ交換溶液 業務用1000ml等)

グリップ切除・抜き時、ご用意頂くもの
○切除する場合 5604-0221: グリップ・カッター
○再利用する場合 5604-0041: グリップ・リムーバー・スティック、5650-0001: グリップリムーバーガン、5604-0231: エアーコンプレッサー式 グリップリムーバー等のいずれか)

《設置・組立方法》

(1) 図1や《製品構成/各部の名称》の画像を参考に、クランプの向きに注意して、本体にシャフト・クランプを固定します。本体側のシャフト・クランプ固定用穴は、ネジ切り加工がされていない穴です。クランプの向きは、シャフト・ガイドが開いている側とクランプの開く側が、同じ側になります。

(2) 図2のように、作業台にしっかりと固定された万力で、本品の万力固定用ステーをはさみ、本体を固定します。周囲に、本体の伸縮、グリップ・ガイド・プレートの可動、グリップ溶液受け皿の設置等に十分なスペースを確保して下さい。作業台に直接固定する場合は、万力固定用ステーを取外し、別売の5604-0262: 作業台固定用ブラケットを使用して、固定して下さい。作業台に固定するボルト、ナット、ワッシャー等は、作業台の天板の厚みにあわせて、ご用意下さい。

(3) 図3のように、付属のプラスネジ、ワッシャー、ナットを使用して、シャフト・クランプにグリップ・ガイド・プレートを取り付けます。お手数ですが、プラス・ドライバー、ナットを保持するモンキ・レンチまたはスパナは、ご用意下さい。

(4) 図1中の溶液受け皿ホルダー固定用穴に、付属の固定用六角ネジとナットを用いて、受け皿ホルダーを固定します。

(5) 図4のように、受け皿ホルダーの固定用ツマミを緩めて、上に引き上げながら、溶液受け皿下面の突起をホルダーの穴に合わせ、上から固定用ツメでつかむように固定します。外れないようにしっかり固定できたら、固定用ツマミを締付けて下さい。

(6) 図5のように、溶液受け皿に、リサイクル・ホースを取り付けます。ホースの先端は、使い終わった溶液の容器等に挿して、戻った溶液が溜まるようにして下さい。

(7) ヘッド・ガイド・プレートの角度は、プレート調整ハンドルを緩めて調整します。60度等、汎用性の高い角度に設定し、クラブ毎に変化させずにお使い頂くことも出来ますが、その都度、調整して頂くと、フェイス向き等の調整がより正確に出来ます。角度を確認される際は、レベルメイト(5905-0004)等をお使い下さい。

図1

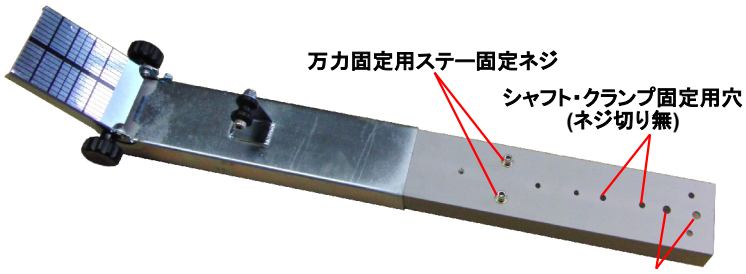


図2

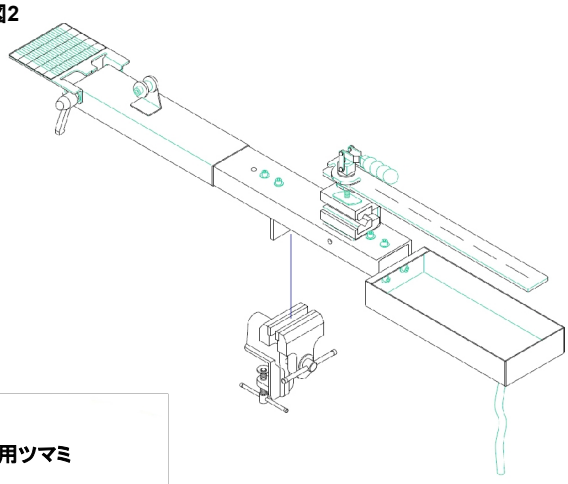


図3

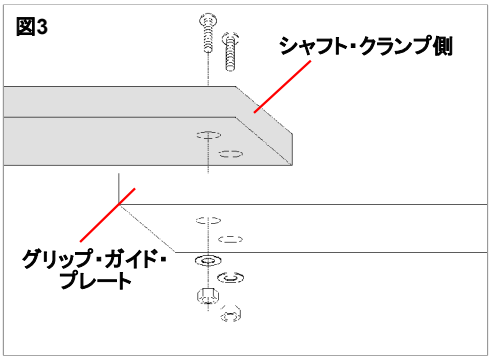
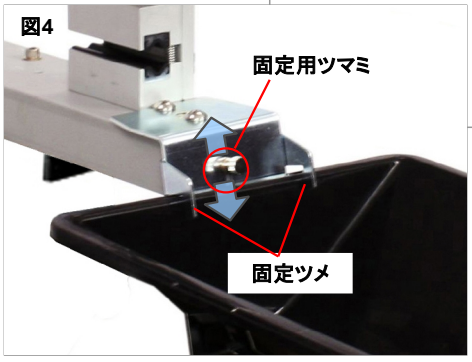
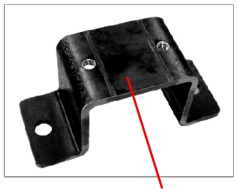


図4



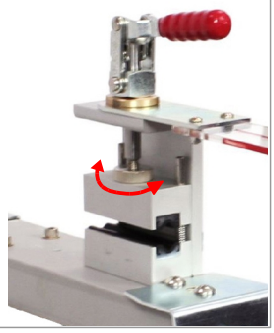


5604-0262: 作業台固定用ブラケット

図5

※クランプ強度の調整

シャフト・クランプは、クランプ調整ダイヤルを回して、挟み込む強さを調整可能ですが、当初から強い強度でクランプすると、シャフトが破損する場合があります。シャフト破損を防ぐため、最初は調整ダイヤルを最上部に上げた状態でレバーを操作し、徐々に調整ダイヤルを下ろしてクランプ強度を強めて下さい。



※※ 使用上の注意 ※※

・ご使用の際には、万一の事故防止のため、防護手袋や長袖の着衣により、身体を保護した上で、作業して下さい。
・グリップ溶液の取扱いには、十分ご注意下さい。溶液を再利用する場合、グリップテープの粘着剤の種類によっては、粘着成分が溶液中に溶け出し、再利用に向かない場合がありますので、再利用される前に、ご確認下さい。

《グリップ装着作業》

(1) シャフト・クランプを開いた状態で、ヘッドを接着したシャフトをシャフト・ガイドの下側を通して、クランプの中央に置き、ヘッド・ガイド・プレートをヘッドで押しながら、グリップ挿入部分が、溶液受け皿上に来るように、クランプする位置を調整します。グリップ・ガイド・プレートは、作業の邪魔にならない方向に向けておきます。

(2) 図5のように、ヘッド・ガイド・プレートの目盛を利用して、フェイスの向きを調整します。必要に応じて、ヘッド・ガイド・プレートの角度を調整し、最適な角度で向きを合わせたら、シャフト・クランプのレバーを操作して固定します。

(3) グリップの長さを計測した上で、グリップ先端をシャフトのどの部分まで挿せばよいか確認し、先端よりも約1～2cm、バット側にマーキングした上で、シャフトの表面を脱脂し、グリップ・テープをバット端からマーキング箇所まで貼り付けます。貼り付け方法は、螺旋巻きや折り返し等、テープの幅や必要なグリップの太さに応じて異なります。(詳しくは、http://www.geotechgolf.com/dg/manual/tejun11.htmlをご覧下さい)

(4) グリップのエンドキャップの穴を指で押さえて、グリップ溶液をグリップ内部に流し込み、ゆっくりと振って、内部にまんべんなく行き渡らせます。

(5) シャフトのグリップ・テープ全体に溶液をかけ、すばやくグリップを装着します。装着後は、グリップの伸縮を直し、図6のように、グリップ・ガイド・プレートをシャフト軸に合わせて、グリップのマーキング等がガイド・プレートのラインに一致しているか確認し、必要に応じて修正して下さい。ガイド・プレートのラインには、立体的な色付けがされており、最も細く見える位置が正しい視点になります。

(5) エンドキャップまでしっかりと挿入されているか、事前に計測した長さで挿入されているか等、確認した上で、グリップ先端やエンドキャップをグリップ溶液で清掃し、乾燥させて完成です。

図5

図6

《グリップ切除・抜き作業》

※グリップ切除については、グリップカッター(5604-0221)、グリップ抜きについては、グリップ・リムーバー・スティック(5604-0041)や、グリップリムーバーガン(5650-0001)、エアーコンプレッサー式 グリップリムーバー(5604-0231)等の各取扱説明書をご参照下さい。いずれの作業においても、本品を用いることで作業性が格段に向上します。

株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント　千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188　FAX.0120-655-188　http://www.geotechgolf.com/